



たのしかったね お泊り会

年長さんになって、大きな行事のひとつであるお泊り会を無事に終えることができました。

お泊り会の目的として、自分のことは自分でやろうとする意識を持つこと、友だちと一緒に目標に向かって協力することの楽しさや、達成感を味わうことなどがあります。

グループ会議では、自分の意見も言いながら相手の意見もきちんと聞き、話の折り合いをつけていく練習もしました。練習なので当然うまくはいかず、自分の意見を押し付けたり、逆に意見がなかなか出ずに話が進まなかったり…。

大人が手助けをしながらなんとか進んだ話し合いでした。

グループでの活動が増える中で、徐々に友だち同士で褒め合ったり、助け合ったりする姿が多くなったように感じます。

お泊り会当日も、「自分のことは自分でやる!」「困った時は大人に言う!」を合言葉にできることはなるべく自分でやろうと協力しながら頑張っていた子ども達でした。

大きなお風呂でみんなで泳いだり、ツリーハウスでいっぱい遊んだり、麻溝公園でポニーに乗ったり、夜はみんなでお布団を敷いてお父さんお母さんがいない中で眠ったり…

楽しくて素敵な思い出がたくさんできました。

お泊り会が終わってからも、「もう一回お泊り会に行きたいな〜」と話しているのを見ると、本当に行ってよかったな、としみじみ感じます。

保護者の方々も、お泊り会で不安や心配の気持ちもあったことと思います。

バスで帰ってきた子ども達の笑顔を見て、ほっと一安心されたのではないのでしょうか😊

大きな行事をひとつ終えるたびに、大きく成長していく子ども達。

これからも、そんなたくましい子ども達の成長を保護者の方と一緒に見守っていきたくと思っています。

